

スリップ事故防止啓発チラシ・ポスターを作成

～冬道を安全に運転するポイント、警察によるスリップ事故分析、スリップ事故注意喚起動画などを紹介～

日本損害保険協会北海道支部(委員長：赤羽 千恵美 三井住友海上火災株式会社 執行役員)は、冬期の自動車のスリップ事故防止を呼びかけるポスターおよびチラシを作成しました。

北海道警察によると、スリップ事故は12月に特に多く、事故の要因としては、不適なハンドル操作やブレーキ操作が最も多いとされています。1月以降も、路面の凍結により停止距離が長くなるため注意が必要です。

ポスターでは、冬道を安全に運転するための4つのポイントを紹介しています。

さらに、北海道警察によるスリップが要因となる交通事故実態の分析につながるQRコードに加え、実際のスリップ事故の様子や冬道運転のポイントを紹介した動画のQRコードを掲載して、運転者への注意喚起と安全運転のアドバイスを行っています。

また、道内を訪れる観光客の増加に伴い、レンタカーなどを利用して運転する観光客が、北海道の地域特性をよく知らずに事故を起こすケースがあることを踏まえ、チラシも作成しました。

当支部では、関係機関と連携しながら、スリップ事故防止に向けた啓発活動を実施していきます。

啓発ポスター・チラシ



※以下 URL からチラシをダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2025/pdf/2509_chirashi02.pdf